



農林中央金庫
The Norinchukin Bank
2008年6月末 自己資本の状況等について
2008年8月26日



■ 自己資本比率11.94%、Tier I比率8.84%

- 安定した自己資本比率とTier I比率を維持

■ 証券化エクスポージャーの評価損は3月末比121億円減少

- 証券化エクスポージャーの評価損は4,329億円へ減少 (3月末比△121億円)。損失額は49億円

■ サブプライム関連商品の損失額は44億円

- サブプライム関連商品へのエクスポージャーは2,813億円へ減少 (3月末比△60億円)。損失額は上記49億円のうち44億円

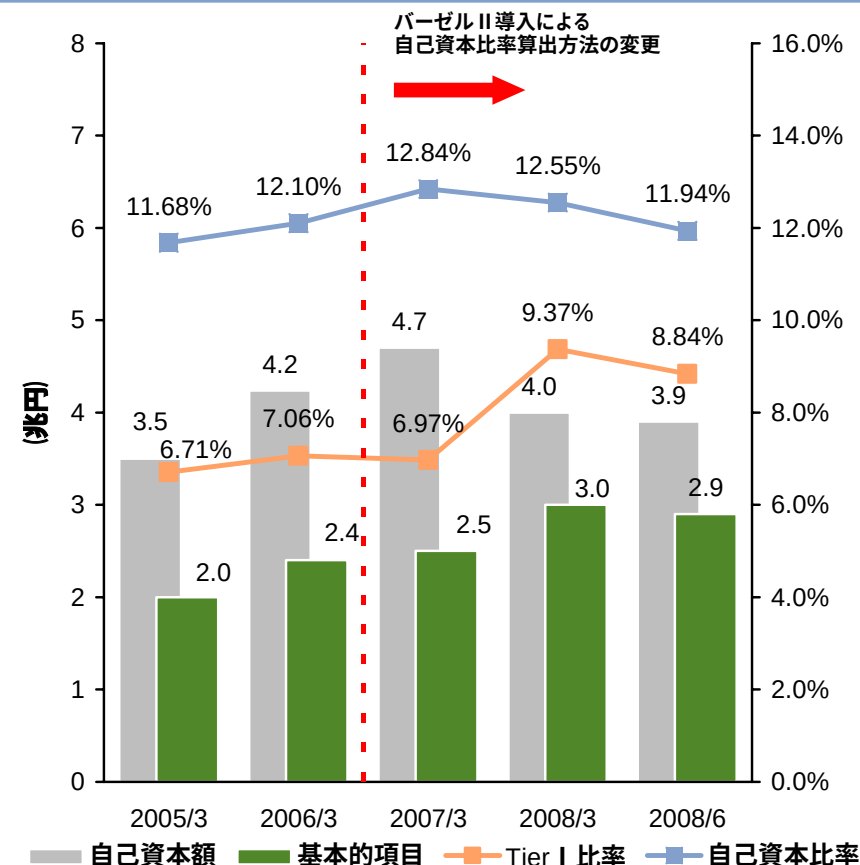
～ 自己資本比率は安定的に推移 ～

- 円安の影響等もありリスクアセットは3月末比6,788億円増加し32兆8,767億円
- 2008年3月期の増資により上昇したTier1比率の水準は維持

自己資本の内訳 (単位: 億円)

	2008年 3月末	2008年 6月末	増減
基本的項目 (Tier I)	30,198	29,072	-1,126
補完的項目 (Tier II)	13,255	13,432	177
控除項目	3,045	3,233	188
自己資本額	40,409	39,271	-1,138
リスク・アセット等	321,979	328,767	6,788
自己資本比率 (国際統一基準)	12.55%	11.94%	-0.61%
基本的項目 (Tier I) 比率	9.37%	8.84%	-0.53%

自己資本比率の推移



注: 2008年6月末現在、単体ベース。

出所: 農林中央金庫

～ 証券化エクスポージャー (注1) ～

- 証券化商品のポートフォリオは、エクスポージャーを拡大 (3月末比+1兆1,053億円) させるも評価損は減少 (同△121億円)。損失額は限定的 (49億円)

1 商品区分別エクスポージャー (注2)

(単位: 億円)

	AAA, AA	A, BBB	BB+以下	合計	3月末比
資産担保証券 (ABS)	26,042	1,510	0	27,553	9,137
住宅ローン担保証券 (RMBS) (注3)	7,421	666	66	8,154	-323
商業用モーゲージ担保証券 (CMBS)	5,779	1,904	0	7,683	189
債務担保証券 (CDO)	22,368	4,749	51	27,170	2,011
ローン債務担保 (CLO)	17,914	4,006	0	21,920	1,941
証券化商品担保 (注4)	3,601	481	51	4,134	10
債券担保 (CBO) 他	853	261	0	1,115	58
その他	0	501	396	898	38
合計	61,612	9,332	515	71,460	11,053

2 商品区分別評価差額・損失額

(単位: 億円)

	AAA, AA	A, BBB	BB+以下	合計	3月末比	損失額 (注5)
資産担保証券 (ABS)	-225	-53	0	-279	256	0
住宅ローン担保証券 (RMBS) (注3)	-426	-127	-21	-575	-34	-22
商業用モーゲージ担保証券 (CMBS)	-342	-198	0	-541	-13	0
債務担保証券 (CDO)	-1,933	-950	-5	-2,889	-73	-26
ローン債務担保 (CLO)	-1,123	-794	0	-1,917	18	0
証券化商品担保 (注4)	-775	-130	-5	-911	-105	-26
債券担保 (CBO) 他	-35	-24	0	-60	14	0
その他	0	-43	0	-43	-13	0
合計	-2,928	-1,374	-26	-4,329	121	-49

注1: 証券化エクスポージャーの定義は、バーゼルⅡにおける「証券化エクスポージャー」(平成19年金融庁・農林水産省告示第6号)による。

証券化エクスポージャーについて、内部格付を有するものは対応する外部格付に読み替えている。

注2: 証券化エクスポージャーは損失額、評価損の反映後、一部のCMBSにおいてバーゼルⅢにおける特定貸付債権に含まれるエクスポージャーが証券化エクスポージャーと別に1,539億円あり(評価差額△14億円)。

注3: サブプライムRMBSを含む、米国政府関連のモーゲージ担保証券を含まない。

注4: ABS-CDO、CDO of CDO's 等の2次、3次証券化商品。サブプライムRMBSを含むABS-CDO・CDO of CDO'sを含む。

注5: 損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損の合計。

注: 2008年6月末現在、単体ベース

出所: 農林中央金庫

3 通貨別エクスポージャー

(単位: 億円)

	エクスポージャー	3月末比	評価差額	3月末比	損失額 (注5)
米ドル	47,959	10,553	-2,980	167	-49
ユーロ	11,351	996	-1,209	-6	0
英ポンド	677	35	-50	-6	0
円	11,471	-532	-89	-33	0
合計	71,460	11,053	-4,329	121	-49

(参考) 証券化エクスポージャーの時価評価について

証券化エクスポージャーには、有価証券、買入金銭債権、貸出金の残高の他、未収収益やコミットメントの未実行残高等を含む。

証券化エクスポージャーにおける有価証券のうち残高ベースでほとんどが時価のある有価証券。貸出金、買入金銭債権について時価は付されていない。時価評価は「金融商品に関する会計基準」「金融商品会計に関する実務指針」に基づき実施しており、市場ベンダー、証券会社等が提供するブローカー時価を採用。当金庫の独立したミドル部門が、ブローカー時価の適切性を総合的に検証している。

なお、上記会計基準・実務指針に基づき、時価評価が取得原価(償却原価を含む)と比べて5割以上下落した場合は、減損処理を行っている。

サブプライム関連商品、その他商品への投資について (単体)

農林中央金庫

～ サブプライム関連商品、モノライン向け与信、レバレッジドローン、米国住宅金融公社関連債券等 ～

■ サブプライム関連商品へのエクスポージャーは3月末比60億円減少し、2,813億円 (損失額44億円、評価損794億円の反映後)

1. サブプライム関連商品への投資の状況(注1) (単位: 億円)

(1) サブプライム住宅ローン担保証券 (サブプライムRMBS: 一次証券化商品) (注2)

エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損失額(注3)
AAA, AA	1,246	15	-398	-46		-2
A, BBB	318	-81	-125	45		-19
BB+以下	66	35	-21	-21		0
合計	1,632	-30	-545	-23		-22

(2) サブプライムRMBSを含むABS-CDO (二次証券化商品) (注4)

エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損失額(注3)
AAA, AA	645	-68	-101	-12		0
A, BBB	70	1	-13	-3		0
BB+以下	25	10	-2	-2		-21
合計	741	-56	-117	-19		-21

(3) サブプライムRMBSを含むCDO of CDO's (三次証券化商品) (注5)

エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損失額(注3)
AAA, AA	439	25	-131	-8		0
A, BBB	0	0	0	0		0
BB+以下	0	0	0	0		0
合計	439	25	-131	-8		0

注1: サブプライム関連の融資は行っていない。

注2: ビンテージ (証券発行年) 別比率は①2004年以前97%、②2005-2006年3%、③2007年以降0%。

注3: 損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損の合計。

注4: SIVが発行するキャピタルノート0.53百万円。評価差額なし。減損△26百万円を含む。

注5: サブプライムRMBSを一部でも含むCDO of CDO's。但しサブプライムRMBSの含有率は僅少。

注6: ビンテージ (証券発行年) 別比率は①2004年以前51%、②2005-2006年49%、③2007年以降0%。

注7: 米国ノンリコースローン。米国CLO等で保証前格付けはいずれも投資適格相当以上を確保。

また被保証商品にサブプライム関連商品はない。

モノラインによる保証付金融商品と別にモノラインのCDS等を含む証券化商品 (CDO) を保有。

当該証券化商品の保有割合にモノライン向けCDS等の比率 (含有率) を乗じたエクスポージャーは78億円。

注7: レバレッジドパイプアウトを主な資金使途とする貸出で内部管理の定義による。個別貸倒引当金は51億円。

注8: 米国住宅金融公社とは、米国住宅金融に連関した米政府支援機関(GSE)で、ファニーメイ、フレディマック、フェデラル・

ホームローン・バンクがある。エージェンシー債とは米国住宅金融公社が発行する社債、エージェンシー・モーゲージ債とは、

米国住宅金融公社が組成・保証する住宅ローン担保証券をいう。米国住宅金融公社にかかる株式の保有は僅少。

この他に米国政府全額出資の米政府系機関である政府保証金庫(ジニーメイ)保証付の住宅ローン担保証券の保有額は6,884億円。

注: 2008年6月末現在、単体ベース

出所: 農林中央金庫

2. モノライン関連商品への投資の状況 (単位: 億円)

エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比		損失額(注3)
モノラインによる保証付金融商品(注6)	1,992	55	-315	-61		0
証券業務におけるモノライン利用	0	0	0	0		0
合計	1,992	55	-315	-61		0

3. レバレッジドローンへの投資の状況(注7) (単位: 億円)

エクスポージャー	3月末比	
国内レバレッジドローン	535	-22
海外レバレッジドローン	2,099	194
合計	2,635	173

4. トレーディング等の状況

当金庫はABCP、SIV、レバレッジドローンの組成、引受、トレーディングを行っておらず、関連する商品のトレーディング勘定での保有や連結非対象としているオフバランス取引は行っていない。ただし国内顧客企業の売掛債権流動化を目的としたSPCを1件スポンサーしている (エクスポージャー1,252億円 (3月末比+30億円))。

5. 米国住宅金融公社関連債券への投資の状況(注8) (単位: 億円)

エクスポージャー	3月末比		評価差額	3月末比	
エージェンシー・モーゲージ債	34,550	-1,094	-146	-949	
エージェンシー債	18,477	-2,205	428	-292	
合計	53,027	-3,299	282	-1,241	

(参考) ファンド投資内のサブプライム関連商品の状況(注)

サブプライム関連商品を主な投資対象とするファンドの保有はないが、当金庫が運用を委託しているファンドにおいて、サブプライムRMBS (一次証券化商品) が含まれるものがある。これらのサブプライムRMBSエクスポージャーは2,297億円 (3月末比△187億円)、評価差額△781億円 (3月末比△92億円)。

このほかにサブプライム関連デリバティブとして買建て21億円 (評価損益△11億円) がある。

注: ファンド内個別資産が把握できるファンドにおける当金庫調査ベース。

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等については何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。